

# 日本福音ルーテル教会 女性教職誕生から 50 年

～初めの一步を踏み出してくださった門脇牧師。女性教職の皆さんへ感謝とエールを込めて～

## 50年の歩みとこれから

小岩教会 牧師 内藤 文子

楽しい日々でした。そして1991年34歳の時、入学して出会い結婚した新

私が牧師を目指して、神学校へ入学した時、邦人女性牧師は門脇聖子師、お一人でした。門脇師の按手は私より21年前、そして同級生より15年遅れた按手だったとお聞きしています。神学生の時は「本当に女性教職は認められてゆくのだろうか？」と問い、不安もあつた私でした。門脇師按手からこの21年の間、神学生は確かにいたので、牧師になることを諦めたり、他教派や、他の道を選んでいました。保育士を辞めて、27歳からもう一度、堅い頭を柔らかくし、聖書の学びと牧会に向けての、心研ぎ澄ます研鑽の時。厳しくも三鷹の学び舎での経験は、本当に

吾牧師と、一緒に按手を受けました。そして今年2020年、門脇師の按手より、確かに50年目の今年、森下真帆牧師が誕生しました。この50年には、10名以上の女性教職が誕生したのです。その一人一人が、主に遣わされたという召命を受け、時をかけて育まれ、今はそれぞれ個性豊かに、遣わされた牧会地で牧師として務めています。そして今、社会が「多様な性」を受け入れ始めています。教



第18回連盟総・大会 聖餐式 2000年6月

会でも神様はすべての命をいとおしめ遣わすでしょう。今後も性差を越えて献身者が誕生することを祈ります。

### 女性教職按手年

1970年	門脇 聖子牧師
1991年	内藤 文子牧師 (同年、夫婦教職制度発足)
1993年	中村 朝美牧師
1996年	平岡 仁子牧師
1998年	宮澤 真理子牧師
1999年	岡田 薫牧師
2002年	ピリピ・ソベリ牧師 坂本 千歳牧師

## 門脇聖子先生との出会い

室園教会 俵 恭子

は何か、青年キャンパーたちと真剣に学びあつた。ディアコニアの精神を、多くの若者に体験を通して伝えることに注がれた先生の情熱は本物だった。

先生は、九州女学院(戦争中は清水高等女学校・現在ルーテル学院)で聖書の真理に目覚め、1950年、日本ルーテル神学校に入学、女性牧師第一号となる道を歩み始められた。その道は決して平坦なものではなく、同級生に15年遅れて1970年に按手を受けられた。

その頃大学生だった私は、先生の按手式に立ち会い、深く感動したことを覚えている。またその頃までに先生が切り開いておられたディアコニアの研修キャンプに、私は2度参加している。パウラスホームでの高齢者や島田療育



「エデンの園」居室にて 2012年1月

園の障がい児との出会いは、今も鮮烈で、聖書の教えの神髄でもあるディアコニアの心と

次に先生と出会ったのは、九州女学院短大・九州ルーテル学院大学のチャプレン・教授をしておられる時。学生や教職員のために毎日の礼拝を、心を込めて熱心に整えておられた。大変勉強熱心で、蔵書数は膨大。時間や約束、計画はきちんと守らないと気が済まない真面目一徹の先生だった。しかし反面、旅行が大変お好きで、ピースポードで世界一周の旅も2回、様々な国の人々との出会い、交わりを楽しまれた。

12年前に病に倒れ、車椅子生活となり、言葉も不自由になるという苦難にもめげず、宝塚の「エデンの園」を拠点に年4、5回は、ご友人の介助で旅を楽しまれたが、この5月、最後の目的地である御園へ旅立ってしまわれた。聖書に従って歩み、未踏の地を切り開かれた88年の尊いご生涯であった。



今年の按手式

2003年	伊藤 早奈牧師
2005年	小勝 奈保子牧師 後藤 由起牧師
2006年	西川 晶子牧師
2008年	佐々木 赫子牧師
2009年	汲田 真帆牧師
2020年	森下 真帆牧師